

FRIS\*DIARE

# 令和元年度 後期第3回 全領域合同研究交流会

12月12日(木)13:30~

場所:学際科学フロンティア研究所 大セミナー室

## ◎ポスター発表

『オートファジー関連遺伝子 atg-5 の欠損は *Caenorhabditis elegans* に L1 アレストをもたらす』

Deletion of autophagy-related gene atg-5 brings L1 arrest to *Caenorhabditis elegans*

—山根 梓 修士研究教育院生 (生命科学研究所 / 生命・環境領域)

『リボソームが制御する細胞ストレス応答』

Ribosome-regulated cellular stress response

—松木 泰子 博士研究教育院生 (薬学研究科 / 生命・環境領域)

『メチル水銀による神経毒性における傷害性ミクログリアの関与』

Methylmercury causes neuronal cell death via M1-microglial activation

—星 尚志 修士研究教育院生 (薬学研究科 / 生命・環境領域)

『ケラチノサイトにおけるメラノソーム分解機構の解析』

Investigation of the melanosome degradation mechanism in keratinocytes

—丸橋 総史郎 博士研究教育院生 (生命科学研究所 / 生命・環境領域)

『化学ドーピングによる伝導性の発現を指向した新規配位高分子の研究』

Study on the coordination polymer toward the manifestation of conductivity by chemical doping

—福 健太郎 修士研究教育院生 (理学研究所 / 先端基礎科学領域)

『ムカデの歩行・走行・遊泳を生み出す制御の仕組み』

How centipedes control their body to generate walking, running and swimming?

—安井 浩太郎 博士研究教育院生 (工学研究所 / 生命・環境領域)

『日本におけるオンラインの分極化』

Towards an Understanding of Online Extremism in Japan

—呂 沢宇 博士研究教育院生 (文学研究所 / 人間・社会領域)

『slc-25A46 は神経細胞におけるミトコンドリアの融合と輸送に必要である』

slc-25A46 is required for proper mitochondrial fusion and transport in neuron.

—小日向 寛之 博士研究教育院生 (生命科学研究所 / 生命・環境領域)

『なぜジンコ複数集団は共存できるのか? : 休眠卵による競争回避仮説の検証』

Why are different clonal populations of *Daphnia pulex* able to coexist sympatrically? : a test of storage hypothesis.

—丸岡 奈津美 博士研究教育院生 (生命科学研究所 / 生命・環境領域)

『過酸化脂質の構造解析による脂質酸化原因の評価』

Evaluation of lipid oxidation mechanisms via structural analysis of lipid hydroperoxides

—清水 直紀 博士研究教育院生 (農学研究科 / 生命・環境領域)

Chronic poor condition enhances preference for rewarding substances through dopamine system

—市之瀬 敬晴 (学際科学フロンティア研究所 / 生命・環境領域)

## ◎口頭発表

『ケイ素化学創成期からの課題達成〜ケイ素—酸素二重結合化合物の単離〜』

Isolation of silicon-oxygen double bond compound

—小林 良 博士研究教育院生 (理学研究所 / 物質材料・エネルギー領域)

『結晶間の相変化を用いた次世代型不揮発性メモリの開発』

Next-generation nonvolatile memory showing transition between crystalline phases.

—森 峻祐 博士研究教育院生 (工学研究所 / デバイス・テクノロジー領域)

『生き様は顔に刻まれる? 骨から分かる復顔研究』

Facial appearance reflects one's personal history. Current status in the facial reconstruction of Japanese.

—波田野 悠夏 博士研究教育院生 (歯学研究科 / 人間・社会領域)

総合領域の創成には、複眼的・多角的視点が必要不可欠です。この視点をつために「全領域合同研究交流会」では、各専攻と大学院生が自身の研究をわかりやすく紹介し、自然科学・人文社会科学の境目を越えた議論を行っています。参加者が互々の研究を見つめ直し、深み、広げる機会でもあります。

多様化・複雑化する環境で生きた方が直面する多くの問題には、様々な専門知識を組み合わせています。学部体系の枠組みにとらわらず、異なる専攻の大学院生が手を取り合って新たな学問領域を切り開き、種々の課題に立ち向かうことが必要です。特に学際科学フロンティア研究所の専攻研究者と、学際高等研究教育院の専攻研究者は、先導を化して学際横断的な総合領域研究を推進することが求められます。

本交流会は、学際高等研究教育院の専攻教育院生が中心となって運営しています。学際科学フロンティア研究所・学際高等研究教育院に所属する方ももちろん、東之大のより多くの研究者・大学院生・学部学生の参加を歓迎します。是非合同研究教育院生一同

学際高等研究教育院生一同

『脳波計測の特徴：視覚誘発電位からわかることは何か?』

What can we learn from visual evoked potential?: pros and cons of electroencephalogram (EEG)

—金子 沙永 (学際科学フロンティア研究所 / 情報・システム領域)

『SUBDUCTION EROSION IN JAPAN: 400 million years of continent loss and tsunamis』

—Daniel Pastor-Galán (学際科学フロンティア研究所 / 先端基礎科学領域)

『量子物質薄膜の作製と物性探索』

Synthesis of thin film quantum materials

—井上 悠 (学際科学フロンティア研究所 / 先端基礎科学領域)

【次回予告】

令和元年度 後期第4回 令和2年1月14日(火) 13:30~

詳細は決まり次第ホームページでお知らせします。

[http://www.fris.tohoku.ac.jp/feature/whole\\_area\\_info/](http://www.fris.tohoku.ac.jp/feature/whole_area_info/)

お問合せ:学際高等研究教育院 総合戦略研究教育企画室

E-mail:senryaku@iaere.tohoku.ac.jp

